

「デジタル一眼レフによるヒメボタル撮影入門」 のご案内

夜間の立ち入りが禁止されている金生山明星輪寺境内地ですが、大垣市天然記念物ヒメボタルの時期に合わせて6/9(土)、16(土)の両日に観察会を催します。6/9の第1回観察会では初心者対象の教室「ヒメボタル撮影入門」を開催します。デジタル一眼レフカメラで撮影したヒメボタル、星景、夜景写真などを紹介し、誰でも失敗しない撮影の仕方を学びます。天候がよければ、講座の後、実際にヒメボタルの撮影をすることができます。もちろんカメラのない方も、どなたでも参加でき、事前申し込みも不要です。講師は「金生山明星輪寺の四季」をテーマに撮影を続ける篠田通弘氏です。

ヒメボタルは深夜に光ります。そのため開催は夜10時からです。

-----参加ご希望の方は、次の注意をよくお読みください-----

○持ち物(撮影を希望される方)

- 1、カメラ (デジタル一眼レフカメラ、またはレンズ交換式カメラが望ましいが、コンパクトデジタルカメラでも可。ただし、高感度撮影、長時間露光撮影が可能なもの。)
- 2、三脚(必須)。
- 3、あればケーブルリリース、または赤外線リモコンなど。または、レンズを覆う黒い布、黒い帽子なども利用できる。

○持ち物 (参加者共通)

- 1、ペンライト (光量の小さなもの。ヒメボタルは強い光が当たると、発光を停止してしまいます。大光量の懐中電灯や大光量のヘッドランプは不可。小光量のペンライトや小光量のLEDライトが最もよい。ペンライトの先に赤いセロファン紙をかぶせるが、油性マジックで発光部分を赤く塗りつぶしたものがベスト。)

○持ってきてはいけないもの (参加者共通)

- 1、蚊取り線香、虫除けスプレー (ヒメボタルは生きています。)

○撮影希望の初心者の方へ (事前にご自分のカメラについて、次の点についてよく調べておいて、ご自分で操作できるようにしておいてください)。

- 1、マニュアル撮影の仕方 (シャッタースピード、絞りをマニュアルに変更する仕方。オートフォーカスを解除し、マニュアルフォーカスとする仕方。)
- 2、ISO感度の変更の仕方。
- 3、長時間露光の仕方。
- 4、ノイズリダクションのON、OFFの仕方。
- 5、スピードライト (フラッシュ) の発光禁止の仕方。

-----ご注意ください-----

6/9は写真教室の後、ヒメボタル観察・撮影を行います。車のライトを避けるため、午後10時から午前1時30分までは車の通行はご遠慮下さい。車でお越しいただくことは可能ですが、午前1時30分より前にお帰りの方は麓に車を止めてご来山ください。6/16は夜10時から二胡奏者シータ (池田博子氏) による二胡コンサートがあり、そのあとヒメボタル観察・撮影ができます。

【写真教室のご案内】

デジタル一眼レフによる ヒメボタル撮影入門

—ヒメボタル、星景、夜景を撮ろう—

街明かりをさけてふと見上げた夜空に輝く星。暗闇の中、懸命に光を放つヒメボタル。一瞬の美しさは、一瞬であるからこそ美しいのかもしれません。でも、もしその輝きを写真に残すことができたなら……。

金生山ヒメボタル観察会に合わせて、初心者対象の講座「デジタル一眼レフによるヒメボタル撮影入門」を開催します。初心者対象ですから、「こんなことを聞いては……」とか、「こんな初歩的なことを質問するのはどうも……」などのご心配は無用です。

教室では金生山ヒメボタルや星景写真などを紹介し、夜の撮影の仕方の基本を学びます。講座の後には金生山のヒメボタルを観察し、カメラをお持ちの方は実際に撮影することもできます。

カメラをお持ちの方も、お持ちでない方も、金生山のヒメボタルとの出会いをお楽しみ下さい。

日時 2012年6月9日(土) 午後10時
場所 大垣市赤坂 金生山明星輪寺
参加費 環境保護協力金として100円
要項 最後のページをご覧ください
講師 篠田通弘 (<http://miharu.pro.tok2.com>)
事務局 明星輪寺 (0584-71-0124)
(<http://www.mirai.ne.jp/~kinsyou3>)

※観察会以外は夜間の立ち入りは禁止されています



主催 金生山自然文化苑保存会



2010年6月 1:39撮影開始 17分間露光相当のコンポジット処理
Nikon D3S + SIGMA50mm f/1.4 EX DG HSM
ISO 6400 F/1.4 開放
Copyright © 2010 Michihiro Shinoda All Rights Reserved.